

視点
01

安心して子育てできるまち

認定こども園の整備を支援し保育環境の充実を図ります。
小中学校の学習環境を充実します。



健やかな成長を助けるおいしい給食

充実した給付で子育てを支援

- ◆子育て支援医療費助成事業…5,435万円（健康増進課）
・高校生世代までの子どもの医療費を無料化
- ◆結婚祝品・出産祝品支給事業…700万円（市民税務課）
- ◆小中学校給食費助成事業…1,748万円（教育指導室）
・給食費の半額を助成
・第3子以降は全額助成



宮沢小学校の租税教室
教科以外にも様々なことを学ぶ

子どもたちの学習環境を充実

- ◆小学校教育用パソコン整備事業…2,412万円（こども教育課）
- ◆小中学校無線LAN整備事業…882万円（こども教育課）
・校内無線LANを整備し探求型学習を推進
- ◆活力ある学校づくり推進事業…110万円（教育指導室）
・ふるさと学習や地域との連携など、各小中学校独自の取り組みを強化
- ◆放課後児童クラブ支援事業…3,761万円（福祉課）
・児童の健全な育成のため、放課後における生活の場を提供



徳良湖こども広場で遊ぶ親子

子どもたちのための設備を充実

- ◆認定こども園整備事業…3億9,748万円（福祉課）
・保育環境の充実を図るため、認定こども園を整備する事業者に対し補助金を交付
- ◆保育施設整備事業…180万円（福祉課）
・さくら保育園、ときわ保育園のトイレを洋式化
- ◆徳良湖周辺環境整備事業…3,200万円（商工観光課）
・徳良湖こども広場のすべり台等をリニューアル



新たな時代のスタート
平成31年度の主な事業

昨年の市小学校陸上競技大会。子どもたちの健やかな成長のため、市では多くの支援に取り組んでいる。

本市では今年度、「安心して子育てできるまち」「いつまでも住み続けたいまち」「雪に強く安心安全に暮らせるまち」「国道347号を活かした活力あるまち」の4つの視点から、地域を元気にするための施策を展開します。

まちづくりの4つの視点

今年度は、「元気おばなざわ創造プラン後期計画の4年目の年になります。この計画に沿って「安心して子育てできるまち」、「いつまでも住み続けたいまち」、「雪に強く安心安全に暮らせるまち」、「国道347号を活かした活力あるまち」の4つの視点に重点を置き、時代が求める施策と本市の魅力や活力を生み出す施策を展開します。

市の各種施策は、第6次総合振興計画「元気おばなざわ創造プラン」に基づいて進められています。こうした施策は、社会情勢の変化に対応できるように毎年、実施計画の見直しを行いながら事業に反映させています。今年度も、総合振興計画に基づき、市民の皆様から寄せられたご意見等も参考にしながら、市民のみなさんが安心して安全に暮らせる元気なまちづくりを進めます。

人にやさしくあったかい
元気な尾花沢をつくる施策

市の各種施策は、第6次総合振興計画「元気おばなざわ創造プラン」に基づいて進められています。

特に子育て支援では、「子育て日本一への挑戦」という目標を掲げ、子育て環境と学習環境の充実に取り組めます。また、高齢者の方がいきいきと暮らすことができるよう移動支援を行うほか、地域を元気にするための施策や移住定住の推進等に取り組めます。市民の安全安心の確保に向けては、消防資機材の充実や市体育館の耐震化に取り組むほか、きめ細やかな雪対策を継続します。さらには、国道347号の通常通行の効果がさらに発揮できるように、産業・観光・企業振興に取り組めます。

今年度は改元に加え、市制施行60周年、新庁舎開庁、松尾芭蕉来訪330周年と記念すべき年になります。尾花沢のこれまでの歴史・文化を後世に伝えるとともに、新たな時代のスタートにふさわしい年になるよう新庁舎開庁と市制施行60周年を祝う記念式典を開催します。次のページからは、本年度の主な事業を4つの視点に分け掲載します。